

(以下は、英語原文のプレスリリースの抄訳版です)

## 関西電力サイラスワン、日本で第一号データセンター建設に向けた土地造成を開始

日本の電力会社と米国のデータセンター事業者による国際的合併会社が、  
データセンターの OSK1 で日本における重要なマイルストーンを達成

〔大阪府大阪市、2024年9月12日〕世界有数のデータセンター運営会社の CyrusOne と、日本を代表する電力会社の関西電力株式会社が 2023 年 5 月に設立した合併会社である関西電力サイラスワン株式会社は、本日、日本初の同社のデータセンター建設に向けて土地造成を開始したことをお知らせします。

関西電力サイラスワンの日本で最初のデータセンター「関西電力サイラスワン OSK1」は最先端のハイパースケールデータセンターとして、関西圏のデータセンターの主要拠点であるけいはんな地区に位置し、19,693 平方メートル (211,973 平方フィート) の敷地に戦略的に配置されています。

同データセンターの総受電容量は 70MVA (メガボルトアンペア) で、最終的には 1 万 1,562 平方メートル (12 万 4,452 平方フィート) の世界最先端のテクニカルスペースに 48MW (メガワット) のデータ容量を提供し、4 階建ての建物 1 棟に、6 つの 8MW データホールを設置します。地鎮祭後に本格的工事が開始され、シェルとコアの建設は 2025 年後半を予定しています。建設は 3 段階に分けて行われ、最初の 16MW は 2028 年第 1 四半期までに稼働を開始する予定です。

サイラスワン CEO の エリック・シュワルツ氏は次のように述べています。「関西電力サイラスワンは、サイラスワンのデータセンター設計・運営における豊富な経験と、関西全域に長年にわたって安定的かつ持続的に電力を供給してきた関西電力の盤石な実績を融合させ、デジタルインフラと電力インフラを同時に最適化するという、ユニークなパートナーシップを構築しました。私たちは、この重要なマイルストーンを迎えることができたことを大変喜ばしく思っており、合併会社のパートナーとともに日本初のデータセンターの地鎮祭をとりおこなうことができたことを光栄に思っています」

関西電力株式会社 代表執行役社長 森 望氏は次のように述べています。「私たちは、サイラスワンに大きな敬意と信頼を寄せており、サイラスワンとともにこのようなプロジェクトを開始できることを喜ばしく思っています。今後 10 年で 1 兆円を投資し、総受電容量 900 MW の事業規模を目指していきます」

「データセンターはデジタル経済を動かす心臓部であり、米国と日本の大手 2 社によるこの合併事業は、日本が将来のビジネスを強化する一方で、技術大国であり続けることを確実にしてくれます。サイラスワンと関西電力との連携は、日米の企業が力を合わせ、技術的進歩を開拓し、経済を強化し、地域社会を支援するという長年の伝統を引き継ぐものです」とラーム・エマニュエル駐日米国大使は述べました。

サイラスワンはサステナビリティを設計の重点項目に据えており、関西電力は長年にわたる同地域での事業展開を通じて、地域の文化に関する深い見識があることから、同データセンターは、全ライフサイクルにわたって環境への影響を最小限に抑えるよう建設されます。

関西電力サイラスワンは、近隣地域への配慮として、非常用予備電源、冷却機、空調設備を囲む防音処理の追加など、設計段階での改善措置に多大な投資を行っています。また、外観は、煙突や発電機などの外部機器を隠すように配慮され、周囲の環境と調和するように設計されています。

本データセンターは建設期間中から運用開始後にわたり、地域に多くの仕事を生み出すことになり、けいはんな地域、ひいては日本経済の成長に資する事業を推進していきます。

関西電力サイラスワンは、後続の開発案件についても積極的に推進しており、今後10年程度で総受電容量900MWの事業規模を目指し、事業開発に取り組んでいきます。

### 関西電力サイラスワンについて

関西電力サイラスワンは、米国に本社を置き、世界的にデータセンターを所有・開発・運営するCyrusOneと、日本の大手電力会社である関西電力株式会社（KEPCO）との間で日本に設立されたジョイント・ベンチャーです。

この協同事業は、サイラスワンが有するハイパースケール企業やフォーチュン1000企業向けの先進的なデジタルインフラ・ソリューション開発における技術や運用に関する幅広い専門知識と、関西電力が持つ電力供給能力とその豊富な実績、そしてこの地域における長年の事業展開からもたらされる文化的理解と見識を組み合わせています。

関西電力サイラスワンは、デジタルインフラを幅広い電力網と連携させ、地域のハイパースケール顧客の成長を効率的かつ大規模に支えていきます。